

第13回 地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会 議事概要

1. 日 時：令和4年1月25日（火）15:00～17:00

2. 場 所：オンライン開催

3. 出席者（敬称略）

[出席者]

・[委員]

産業界

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 赤渕 明寛 | (特非) Digital 北海道研究会 理事 |
| 石田 廣幸 | (特非) 北海道 G 空間情報技術研究会 顧問 |
| 及川 雅博 | (一社) 日本写真測量学会 北海道支部 役員 |
| 雫石 和利 | (一社) 建設コンサルタンツ協会 北海道支部 情報委員会 委員長 |
| 藤原 達也 | (一社) 北海道産学官研究フォーラム 副理事長 |
| 大石 稔 | (公社) 日本測量協会 北海道支部 事務局長 (山口委員代理出席) |
| 山川 昇 | (一社) 北海道測量設計業協会 会長 |

学界

| | |
|------------|-------------------|
| 橋本 雄一 (座長) | 北海道大学 大学院文学研究院 教授 |
| 金子 正美 | 酪農学園大学 農食環境学群 教授 |
| 村上 亮 | 北海道大学 名誉教授 |

官 (公的機関)

| | |
|-------|----------------------------------|
| 佐々木 肇 | 北海道開発局 事業振興部 防災課 課長補佐 (坂場委員代理出席) |
| 平山 大輔 | 北海道 建設部 建設政策局長 |
| 清水 英征 | 札幌市 建設局 土木部 維持担当部長 |
| 橘 悠希子 | 国土地理院 北海道地方測量部 部長 |

・[顧問]

| | |
|-------|------------|
| 山村 悦夫 | 北海道大学 名誉教授 |
|-------|------------|

・[話題提供者]

| | |
|-------|---------------------|
| 村上 亮 | 北海道大学 名誉教授 (再掲) |
| 金森 正郎 | 北海道札幌啓成高等学校 教諭 |
| 田口 綾子 | 国土地理院 防災・地理教育支援 事務局 |

・[事務局]

| | |
|-------|--------------------------|
| 関 真幸 | 国土地理院 北海道地方測量部 地理空間情報管理官 |
| 磯部 裕介 | 国土地理院 北海道地方測量部 測量課 測量係長 |
| 川村 康介 | 国土地理院 北海道地方測量部 測量課 測量係 |

4. 議事

1) 話題提供 1

- ・「火山防災の観点からみた高校「地理総合」必修化への期待」
北海道大学 名誉教授 村上 亮

2) 話題提供 2

- ・「高校「地理総合」における地図・GIS と防災の授業」
北海道札幌啓成高等学校 教諭 金森 正郎

3) 話題提供 3

- ・「防災・地理教育支援の取組」

国土地理院 防災・地理教育支援事務局 田口 綾子

4) 意見交換

5) その他

5. 配布資料

- ・[資料 1] 第 13 回地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会出席者名簿
- ・[資料 2] 火山防災の観点からみた高校「地理総合」必修化への期待
- ・[資料 3] 高校「地理総合」における地図・GIS と防災の授業
- ・[資料 4] 防災・地理教育支援の取組
- ・[参考資料] 地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会設置要綱

6. 議事の経過

資料 2～4 に沿って話題提供が行われた。話題提供を踏まえて行われた質疑応答及び意見交換は、以下のとおり。

○委員

「地理総合」における農業や森林といった第一次産業の扱いについてと、農業系の高校での GIS や地理に関係した演習が実施できる可能性があるのかをお聞きしたい。

【回答：話題提供者】

第一次産業については、教科書にある「持続的な地域づくり」において大きく扱われると考えられる。農業系の高校で GIS や地理に関係した演習を行う場合、「地理総合」では時数が少なく難しいのではないかと考えられる。学校設定科目になると考えられる。

○委員

他の自治体において、高校生を「教える対象」ではなく、「地域住民を教育するパートナー（防災のプレイヤー）」として活用するという事例があるが、北海道の火山防災ではそのようなことは検討されていないのか。

【回答：話題提供者】

知る限りでは、そのような活用は見られていない。危機意識が高ければ社会実装や実現に向けての動きが促進されると思われるため、住民レベルでの危機意識の高さが重要になると考えられる。

○委員

札幌市内の小中学校において同小中学校の防災教育の一環として、全児童を対象とした防災に関する出前講座を開催した。若年層を対象とした今後の防災教育に繋がる出前講座だったと手応えを感じている。

○委員

洪水や津波の浸水想定区域、土砂災害警戒区域といったハザード情報を提供している。教材として活用していただき、使った上での希望やニーズ等があればお知らせいただきたい。

○委員

今年度も GIS、地理空間情報の普及活動を進めてきた。更に、本懇談会に参加した知見より、教育に関する内容についても充実させていきたいと考えている。

○委員

高校の地理教員の集まりで講話をしたほか、地図記号の解説や地形図の読図等の指導活動を行っている。教育現場での行動は難しいが、地理の理解及び利用を広めることを目的とし、

今後も取り組んでいきたい。

○委員

平成 30 年北海道胆振東部地震が発生した直後に当該地震に関する講演会を開催するなど、防災分野での地理空間情報の活用を積極的に進めている。即応性が求められる災害時対応の一助となるよう活動を続けていきたい。

○委員

過去の災害を取り上げ、住民にわかりやすく説明を行う出前講座を実施しており、家庭内での話題作り、学校等での教育に対する動機付け、きっかけづくりになればと思っている。

○委員

測量業界での教育として、専門技術者の人材育成や資格認定事業を実施しているほか、関連技術、新技術の動向及び活用方法など、専門技術力を深めていくための取組を実施している。

○委員

教育としては、測量機材等を用いた測量体験を開催し、身近に感じていただくよう取り組んでいる。地理教育の分野でも地域貢献事業ができないかを考え、現在検討を進めている。

○委員

若い人に人気のない業界ではあるが、高校や中学校、小学校といった若いときから防災や地理空間情報に触れてもらうことにより、その先の活用の場である建設分野にも興味を持ってもらえるのではないかと期待している。

○委員

今年度も学識経験者や国土地理院、北海道庁、日本技術士会北海道本部防災委員会、物流関係企業等を招き、防災・減災に関するセミナーを開催してきた。

○顧問

以前、平常時から火山の危険性を生徒・児童や地域住民に説明し、災害が発生した際に1人も犠牲者が出なかったという事例があった。災害の危険性を遠慮せずしっかりと教育することが重要ではないか。また、GNSS やドローンなど、技術の進歩はめまぐるしいが、このような進歩や新しい技術についても子供たちに教育することにより、より関心を持ってもらえるのではないか。

○座長

今後、高校生全員が地理教育の中で災害や GIS、地理空間情報について学ぶ時代となる。今後も本懇談会を開催し、課題などを整理していきたい。

質疑応答及び意見交換終了後、事務局から今後のスケジュール等についての説明を行った。